

【情報公開文書】

2021年3月29日作成

Ver.1.04

研究課題名	プラスチックの肺および健康への影響の検討
所属（診療科等）	長崎大学病院 呼吸器内科
研究責任者	城戸 貴志（病院講師）
研究機関	この研究は長崎大学病院呼吸器内科で実施します。詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。
研究期間	2020年12月22日～2025年12月31日
研究目的と意義	プラスチックによる直接的な海洋環境破壊に加え、人間への健康被害が世界的に懸念されており、本邦においても、ビニール製レジ袋の使用規制をはじめ、プラスチック生成量の抑制や回収を目指す取り組みが始まるなど、国民的な関心も非常に高くなっています。最近、大気中にもプラスチックが観察される報告が相次いでおり、呼吸器を介した健康影響も懸念されています。我々は、気管支肺胞洗浄液の残余検体や余剰検体を用いてプラスチックの検出を行い、その健康影響をカルテ上の情報を収集して調査します。
研究内容	<p>●対象となる患者さん</p> <p>以下の全てを満たす方が対象となります。</p> <p>① 2010年1月1日～2023年12月31日に長崎大学病院呼吸器内科を受診された/される患者さん。</p> <p>② 気管支肺胞洗浄が行われ、残余検体や余剰検体がある患者さん。</p> <p>③ 年齢：20歳以上の患者さん。</p>
	<p>●利用する情報／試料</p> <p>気管支肺胞洗浄液の残余検体や余剰検体を用いてプラスチックの検出をおこないません。患者さんの病歴や生活歴、初診情報、身体所見・症状、喫煙状況、治療内容、血液検査、肺機能検査、胸部CT検査、肺炎/発癌/心血管疾患/呼吸器疾患増悪の有無などの情報をカルテから収集します。</p> <p>本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。</p>
	<p>●研究の概要・方法</p> <p>福岡工業大学へ気管支肺胞洗浄液の残余検体や余剰検体を福岡工業大学 環境科学研究所へ送付し、プラスチックの検出を行います。また、プラスチックの検出状況と収集した患者さんの情報を比較し、プラスチックの健康への影響を評価します。</p>
問い合わせ先	<p>《研究担当者》</p> <p>氏名：城戸 貴志（医師） 長崎大学病院 呼吸器内科</p>

住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7273

【ご意見、苦情に関する相談窓口】

（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）